

る結果今後他州に於ても行はるゝであらう。更に千九百十四年に至り米國の各労働市場は歐洲戦亂の影響を受けて甚大なる打撃を被り失業者夥しく爲めに労働者は非常に困難なる境遇に陥つた。茲に於てか各種の慈善的及公益團體の労働紹介所及公共的労働紹介所續々として起つた。而して此等公共的労働紹介所の大部分は其性質一時的のもので何等立法上の権能なくして開設せられたものであるから永久的の性質を有するもの極めて尠く、従つて其紹介事業の効果も舉らない。僅かに紐育市の六箇の紹介所のみ永久的の基礎をなした。斯の如く米國に於ける公共的労働紹介事業は歐洲諸國に比すれば未だ頗る不完全であつて州立であつて州立労働紹介所を有する州は二十三を數ふるも或公共的労働紹介所の如きは單に紙上の制度に止まり何等の實績なく或は紹介所の地位宜敷を得ず且つ其管經方法の拙劣なる爲め熟練労働者は之れを利用するを好まず徒らに下級労働者のみの集合場と化し雇主の方も公共的労働紹介所によつて

労働の供給を得る事が出来ない有様である。茲に於て米國全般を統一する國家的労働紹介所の設立を主張する聲愈々高く其結果第六十三回議會に於ては幾多の國家的労働紹介所案が提出せられた。其一例として最も有名なるはマードック案 (Murdoch Bill) で其要旨は米國全地の郵便局をして労働紹介機關たらしめんとするにある。即ち米國各地の郵便局長は労働紹介地の業務を管掌し政府は、此新計劃の爲めに二百萬弗の金額を支出して之れに備へる。而して紹介事務に對しては労働者より五十仙を徴收するものとする。但し一日一弗以下の賃銀を得るとのに對しては無料紹介をなす。尙此計劃によると五萬八千個の労働紹介所が開設せらるべく且つ政府は National Employment Bulletin なる週刊雜誌を發行して労働市場の状況を詳かにする。更に該制度の組織は三人の Interdepartment Commission の管理に屬し、其二人は労働卿之れを任命し他は郵便局長之れを指定する事とし米國全部を一萬平方哩の地域に分割し、各地域に於ける中央郵便局は

該區域内の郵便局を管理するものとしてゐる(19)。

然しながら何れの案も未だ法律となつたもの一もなく従て米國に於ては国立労働紹介所制度存在しないが、千九百十四年以降中央政府の労働局は中央郵便局と協同して一種の國家的労働紹介を開始してゐる。蓋し米國千九百〇七年の移民法は其内部に通報部なるものを設け全國內移民の分配に關する統計の蒐集に費せしが其成績不良であつた爲め千九百十三年の新條令の通過と共に労働局なるものが新設せられた。而して其目的は主として労働者の保護であつて特に労働者に職業の機会を得せしむるにあつた。茲に於て從來存在して居つた移民局の事務も皆此の労働局の管轄に移される事となつた。其後労働局は甚大なる活動を開始し米國全般を十八區に分割し各區は各其中央局を有し移民官は各區内の事務を管理し更に農商務省及郵便局と協同して紹介事務を開始した。斯の如く米國は最近に及んで一種の國家的労働紹介を始めたが其成績極めて良好新

制度開始以來最初の九ヶ月間に於ける求職者数は十三萬の多きに達し其内就職者数は三萬五千餘人である。尙此制度は今後同國に於て益々發展するが如く思はれる(19)。

第五款 我國の公共的労働紹介所

我國に於ける公共的労働紹介所は東京市の經營に係る職業紹介所即ち此種類に屬するものである。而して東京市營の職業紹介所は東京市が社會救濟事業の一機關として明治四十四年淺草及芝に開設したるを嚆矢として其後小石川、神田(但神田の職業紹介所は大正七年三月三十一日限閉鎖)に増設し専ら失業者の紹介無宿者の宿泊業の事務を取る。尙附隨事業として單純なる授産所を設け且つ兒童保護所もある。而して該紹介所は養育院長の管理に屬し養育院長は東京市長の指揮監督を受け市内居住の失業者に無手数料を以て職業を紹介するもので各紹介所は主幹一名及事務員若干名を置き紹介の事務に當る。労働者が市營職業紹介所に依つて職

業を求めんと欲すれば自身紹介所に出頭し係員に申込み。係員は求職票に記載せらるゝ各調査事項に従つて申込人に詳細なる尋問をなし其答辯を該票に記入し終れば労働者に登録票を交附する。一方雇主は書面、口頭若くは電話を以て申込をする。かゝる場合には事務員は、之れを使用人需票に記載事項に従つて適當なる記入をなし求職者中から登録順により適者を選抜し雇主と會見せしむる。但し特別の事情がある場合には當該労働者に優先権を與へて居る。斯の如く我國の公共的労働紹介所の發達は未だ最近の事に屬し従つて其規模も大きくない。該紹介所の開設當初から大正四年以來に至る迄の求職人員は男女を合計して三萬二千百十六人で雇主からの申込数は二萬二千〇九十五人、其内就職したものが一萬一千四百〇二人である。故に之れを歐洲諸國の公共労働紹介所に比較すると其規模の差異は全日の談でない。

第四節 公共的労働紹介所經營政策

公共的労働紹介所を經營するに當つて遭遇すべき問題は幾多あるが重要なるものを擧ぐれば紹介所經營の主體を自治團體とすべきか將又國家とすべきか(二)紹介所の管理は官吏又は公吏をして掌らしむべきか又労働者及雇主の代表者より委員を以てすべきか(三)紹介手数料徴收の可否(四)労働爭議の場合に於ける紹介所のとるべき態度如何等である。

(一)公共的労働紹介所に於ける經營主體を自治團體とすべきか國家とすべきかに就ては各國の政策は同一でない。佛蘭西、獨逸の如きは自治團體をして紹介所を經營せしむる方針をとり、英國は千九百〇九年以降國立労働紹介所を設立して紹介所の經營を國家自らなすに至つた。米國の如きも近時紹介所の國家的經營の主張は愈々高調しつゝある。惟ふに労働紹介を自治團體に於て經營するは決して悪いとは云へない。殊に自治團體

は貧民救助法の關係上労働紹介の業務を營むに最も適當である。蓋し歐洲各國中貧民救助法を施行する處では自治團體をして貧民救助の任に當らしむるを常としてゐる。而して貧民なるものは失業労働者が其多數を占むるは争ふべからざる事實である。而して貧民の中には完全なる労働能力を有するものが尠くない故此等の者に職業を與ふる事が出来れば貧民の數を減少せしむる所以である。故に自治團體をして貧民救助をならしむると共に労働紹介事務を經營せしむれば自ら貧民救済に要する公費を節減する事となる。然れども自治團體の經營する紹介所は各紹介所間の連絡を密接にする事頗る困難である。獨逸に於ける自治團體の經營する各紹介所間の連絡は輒近稍巧妙なるも未だ改良すべき點が頗る多い。是れ獨逸中央政府が帝國労働紹介局なるものを設けて此等の缺陷を補足せんとするに至つた所以である。故に吾人は公共的労働紹介所經營の主体は國家自ら之れに當るを以て最も適當と信ずるものである。

(二)公共的労働紹介所を有効に經營しやうと欲するならば必ずや労働者及雇主の協力補佐を得なければならぬ。殊に公共的労働紹介所は労働者の性格及其他の事情に關しては職工組合の補助を要する事頗る切なるものがある。故に此種の労働紹介所を經營するに當つて純然たる官吏又は公吏のみに委任するは紹介事務をして有効ならしむる所以でない。故に歐米の公共的労働紹介所に於ては雇主及労働者の代表者を以てなる委員會をして其業に當らしめて居る。例へばミュンヘン紹介所に於ては労働者及雇主より各三人宛代表者を選任し之れに加ふるに公平無私なる官吏をして委員長たらしむる。又英國に於ても國立労働紹介制度の地方局には労働者及雇主の雙方より同數の委員を選出し以て聯合委員會を組織し兩者に關係なき純然たる官吏をして委員長となす制度を採用してゐる。そして其れは純然たる官僚組織が紹介所の本質上不適當であるからである。我國の市營紹介所は純然たる官僚組織で市長の指揮監督を受け公吏

が紹介事務に當る結果労働者の技術性格等を知悉する事能はず従つて適任者を適所に置く事が出来ないのみならず我市管職業紹介所の事務員は労働者に對する態度が極めて冷淡である。是れ畢竟我國從來の官尊民卑の遺風が此處にも表はれて居るのであつて官吏は兎角威張りたがる弊風がある。俗に云ふ役人根性は労働紹介所の如き労働者を對手とする社會政策的施設には大禁物である。惟ふに労働紹介所に來て職を求めんとするものは皆失業者であるから彼等は多く失意の境遇に沈淪して居る者である。故に紹介所の事務員は彼等に對しては十分の同情を以て取扱ひ可憐懇切に應待すべきである。然るに事務員が徒らに冷酷無情の態度を以てするならば折角の社會政策的施設も其効を擧ぐる事が出来ない。コハ苟くも社會改良事業に志す者の特に主張する所である(14)。尤も我市管職業紹介所の管理者も此點に顧慮して紹介所の處務規定中に此事に付て注意を與へて居る(15)。然れども未だ從來の惡風は全くは去らない。吾人は

我國に於ける公共的紹介所の官僚的組織を不可なりとするも直ちに之れを變更して雇主及労働者の代表者を以てなる委員會組織になすべしと主張するものでは決してない。蓋し我國の雇主及労働者は未だかゝる事務を經營するに適しない。特に労働者に至つては不幸にして其大部分は無智無學で到底紹介事務の管理に參與する事が出来ない。されば將來は兎もあれ現時にありては現今の經營組織が適當である。故に職業紹介所の業務に當るものは須く克く其本質を理解して労働者に對して總べて労働者の自尊心を毀傷しない様に努むべきである。更に吾人の我市管紹介所事務員に望む事は紹介事務を極めて敏速にやる事である。これも我國役人の一大缺點として事務を取扱ふ事頗る遲鈍裕々として事務を處理する傾向がある。其日一日の職業を得なければ家族を擧げて飢餓の襲來を免れない労働者に關する事務は頗る機敏を要するは論を俟たないので労働紹介事務の如きはウエツプの言を藉りて云へば「電光の如き速力を以てな

さねばならない(16)。

(三)公共的労働紹介所に於ける紹介事務に關し手数料を徴收すべきや否やに付ては從來屢々論議せられた處で歐米に於ける大部分の公共的労働紹介所に於ても手数料徴收は禁止してゐる。但だ伯林公共労働紹介所は二十ペニヒの手数を課してゐる。此點に關しトランスバール貧窮救済委員は手数料徴收主義を主張し手数料を課すれば眞實に職業を求むるにあらざる労働者が紹介所に申込をなさざるに至り其結果紹介所の手数を省略する事となる且つ眞摯なる労働者のみ紹介所に來るから自然紹介所の充實を見る様になると云つてゐる(17)。されど公共的労働紹介所の如きものは其主旨が労働者の保護にあるから原則としては無手数料の方を可とする。現今獨逸英國の公共的労働紹介所の大半は嘗に無手数料なるのみでなく既に述べた様に労働者に金銭上の便宜すらも與へてゐる。

(四)次に労働者と雇主との利害關係が衝突した場合即ち同盟罷等同盟不

買或は其他の労働争議の起つた場合紹介所の採るべき政策如何は學者間に激甚なる論議のあつた處で之れに對する各國の公共的労働紹介所の採つた方針は一定してゐない。例へばパーメンに於ける紹介所は此等の争議中は紹介業務を中止する方法をとり或は斯の如き時と雖も平時と何等異なる事なく紹介業務を掌るものがある。伯林紹介所は千九百〇五年に至る迄此方針を採つてをわつた。然れども現今歐米各地に於ける紹介所の採用する政策は斯の如き争議の存在する場合には其旨を労働者に告知し其後紹介事務をとり労働者が其職に就くと否とは全く其の選擇に委ねる方針を採るに至つた。今日ミュンヘン、スットガルトの紹介所を初めとし其他獨逸及英米兩國に於ける公共的労働紹介所の大部分の採る政策は即ち是である。惟ふに此政策は労働者及雇主の何れからも反對を受けず頗る適宜の態度であると云つて差支ない。更に紹介所は賃銀其他の雇傭條件に關し職工組合の規定する標準に合致せざる職業に就いての態度も同盟罷

業の場合と同じく労働者及雇主に對し中立的の政策を採り何等特別なる雇傭條件を強請する事なく唯紹介所は此等兩者の間に立ちて公平無利の態度を保持すべきである。

註

(1) 労働紹介所は失業問題を論じた書物の中には皆説いてある故前章に掲げたるものを参照せられたし。尙前章に記さざりしもの二三を茲に擧げて見よう。

Conrad, Die Organisation des Arbeitsnachweises in Deutschland

Lindemann, Arbeitspolitik und Wirtschaftspflege der deutschen Stahlverwaltungen

Michulke, Arbeitsnachweise der Gewerkschaften

(2) Beveridge, Unemployment, p. 197

(3) Tigon, Unemployment, p. 215

(4) Commons, Labor and Administration, p.p. 358—359

(5) Philippovich, Volkswirtschaftspolitik (Grundriss der Politischen Oekonomie) 5te Aufl., 2Ed., 2tl., S. 230

(6) Weigert, Arbeitsnachweise und Schutz der Arbeitswilligen, S. 2

(7) Calwer, Arbeitsmarkt und Arbeitsnachweise, S. 44

(8) Decale, Unemployment in the London Building Trade, p. 133

(9) Lewis, Syndicalism and the General Strike, p. 14

(10) Chapman, Work and Wages, Vol. II, p. 365

(11) 尙此業の組織に關し詳述なる書は American Labor Legislation Review, Nov. 1915, Unemployment Survey 参照

(12) Kellor, Out of Work, pp. 301—305

(13) Commons and Andrews, Principles of Labor Legislation pp. 276—278

(14) Roun'ree and Lasker, Unemployment, p. 303

(15) 東京市職業紹介所事務取扱手続第二條(東京市職業紹介所第五回年報第五頁)

(16) Webb, The Public Organization of the Labour Market, p. 251

(17) Transval Indigency Commission Report p. 129.

附 録

I. W. W. に就て

緒 言

- 一、 I. W. W. の沿革
- 二、 I. W. W. の組織
- 三、 I. W. W. の主義及手段
- 四、 I. W. W. の将来

緒 言

ゾムバート教授は千九百〇六年に其著“Warum giebt es in den Vereinigten Staat en keinen Sozialismus?”に於て米國に社會主義のない理由を説明してゐる。然るに其の米國に於て近年頗る大規模の社會運動が諸處に顯れ、其の最も革命的で且最も破壊的のもののはかのI. W. W.であつて、千九百〇五年以來米國到處に於て過激なる社會的動亂を起せしが爲め著しく米國民の注意を喚

起し、同國の政府も其の措置に困惑して有様である。而して此 I. W. W. は種々の點に於て佛蘭西又は伊太利に於ける「サンデカリズム」に類似して居る處があるので人が之れを「アメリカンサンデカリズム」と稱して居る。最とも米國には佛蘭西或は伊太利の「サンデカリズム」の主張及方法を忠實に遵奉して居る團體は別にあつて其れを「The Syndicalist League of North America」と呼んで居る。されど此團體は會員も極めて尠なく且勢力も極めて微々たるものである。然るに I. W. W. は兎に角七萬の會員を有して其熾烈なる主張と破壊的なる實行手段は「サンデカリズム」と共鳴する點が尠くない。故に之れを「アメリカンサンデカリズム」と稱するは敢えて無理のない事である。尙 I. W. W. は世人の知悉するが如く「The Industrial Workers of the World」の頭字を取りたるものにして之れに二個の團體がある。即ち其一は本據をデトロイトに有するもので、之れは甚だ勢力が薄弱で今日は盛んでない。其他は其根據地をシカゴに置くもので此團體が今日米國の I. W. W. の運動の中樞をな

すもので普通單に I. W. W. と呼ばば之れを指すものである。吾人が以下述べんとする I. W. W. も後者の事に屬する。

一、I. W. W. の沿革

抑も米國に於ける労働運動史上に新局面を開いたものは千八百六十九年「スチーブンス」一派の盡力に依つて成立したる「Knights of Labor」である。蓋し之れより以前に於ても米國には幾多の労働團體は存在したが、皆其性質地方的のもので従つて其勢力も餘り振はなかつた。然るに南北戦争以來同國の經濟界は迅速なる發達をなし、工場生産は愈大規模となり、人口は益都市に集中し、貧富の懸隔は漸く激甚となつた有様で労働者階級は意外の苦痛を感ずるに及んだ。此の時に「フキラデルフ」の仕立職工であつた「ウリアム・スチーブンス」は從來存在して居つた職工組合なるものを以てしては到底労働者階級の利益を伸暢する事が出来ないと確信し、同志のものと相謀つて遂に「The Noble and Holy Order of the Knights of Labor」後に單に「ナイ

「ツォブ・レーバー」と稱する)なる労働者の團體を組織した。而して此團體の主旨は特種の職業に従事する労働者を保護するものでなく、労働者全般の改善を謀るのであつて、此れに加入する者は職業の差別を問はず、總べての労働者を包含し行々は労働者を包容する一大組合を組織せんとするのであつた。此團體は其初期に於ては非常の勢力を以て發達し、千八百八十六年には六十萬の會員を有する程盛大のものになつた。然し其後此團體は猥りに同盟罷業或は「サボターヂ」等を企て、或は他の同盟罷業を援助した結果團體の財政的基礎に甚しき動搖を來し、且つ狂熱的政治運動に參與したので會員相互の不和を惹起し、遂に團體其もの、破綻を來したのである。「ナイツ、オブ、レーバー」が漸く衰頹に傾きかゝつた際米國に於ては第三の一大労働者運動が開始されたので之れが即ち世人の知る American Federation of Laborであつて丁度千八百八十一年の夏同國各地に散在せる九十五の職工組合は互に協同して職工組合の一大團體を組織せんとして成立したる

のである。而して此團體の設立の要旨は全國到る處に鞏固なる職業本位の職工組合を組織し此等と組合と同盟聯合して労働者の共同利益を進展せんとするのである。此團體は其當時の米國の産業状態に能く調和したると同團體の穩健なる政策と更に指導者の宜敷を得たる事に依つて漸次盛大なるに及んだ。

斯くして米國の労働者は漸次職業本位の組合を組織して自分等の利益を進展せんと努むるに至つた。他方同國の産業状態は日進月歩の勢を以て發達を遂げ、或産業に従事する労働者は最早や從來の職業本位の團體組織では自己の利益を確保する事能はざるを自覺するに及んだ。即諸工場に於て續々と新に採用せらるゝ勞力を省略する器具機械は從來熟練労働者のみなし得た仕事を單純化して不熟練労働者でも之れをなすことが出来る様になり、爲に各種の職業間の區別を著しく漠然たらしめ、加ふるに大規模經營の大勢は企業の集中を誘致して已まない。斯かる状態となりて

は労働者は節團の狹隘なる職業本位の團體を以てしては到底其の利益を進展する能はざるのみならず、時に依れば組合間の利益の衝突を來す事なきにあらざる有様となつた。之れを最も早く痛切に感じた労働者は醸造業に従事する職工組合員で、斯くの如き短所を匡正せんとして千八百八十七年職工組合の組織を變更して其會員は單に造酒業に従事する特種の労働者のみならず、此れに關する總べての労働者を以てする所謂 Industrial Union を組織するに至つた。其後此種の組織を主張する労働者漸次増加し、此等のものは盛んに職業本位の組合は甚しく時代後れて、労働者の利益を伸暢するには必ずや産業本位の組合組織に待たざるべからずと主張し、遂に此等の不平分子が相集合して American Labor Union なる稍過激なる組合を作り職工組合と對抗するに至つた。

而して千九百〇二年より千九百〇四年に亘る米國內の諸所の激烈なる労働争議は實に労働者中の過激分子を團結さざる最上の機會を與へたる

るので、恰かも千九百〇四年の秋當時社會運動に熱心なる六名の者相集りて秘密協議を開き、新時代に適應する一大労働運動を起さん事を決議し、概を諸方に飛ばして翌年一月シカゴに労働者會議を召集した。此會議に列席したるものは三十名の労働者にして數日間の討議の結果 Industrial Union Manifesto なるものを作成して新運動の宣言書とした。(註)

註

此宣言書は最も簡單に新運動の精神及び方法を記述したるもので第一に職工組合の現状の到底労働者を益する能はざる點を指摘し、第二に労働者の團體組織に新局面を發展する必要を主張し、之れに關する種々なる提供を列舉し、更に第三に新しき組合を組織する爲めの労働者大會の召集に就て述べてある。

更に同年六月労働者大會をシカゴに開催した。此大會に出席したるものは百八十六名の代表者で、其代表する組合の數は三十四、其會員は五萬人餘に達してゐる。然しながら此等の代表者は皆同一の主義主張を奉ずるものでなく、種々異なる主義主張を把持せるものにして、其内に或は無政府

主義を信ずるものもあり、或は純然たるマルクス黨あり、或は産業本位組合主義者あつて、此等の異分子を包含する代表者が二週間猛烈なる論議を闘はしたる結果、成立せる團體が即ちこの Industrial Workers of the World である。今此新團體の最初發表せし趣意書を見ると最も明瞭に新運動の主旨が理解されるを以て其大要を示さんと欲する。

「抑も雇主階級と労働者階級は其根本に於て拮抗相容れざる關係に立つものにして其利害は全く背反するものなり。而して一方には社會大多數の労働者が饑飢に瀕して困憊を極め、他方には資本家階級なる少數人士が人生の快樂に耽りつゝあるに於ては兩階級間に平和の存在を許さず。故に此兩階級は不斷の争闘を繼續せざるべからざるものにして労働者は政治上及産業上に於て一致協同し、政黨的關係を離れて労働者階級の經濟的組織を以て、其勞力に依りてなれる生産物を自ら獲得せざるべからず。思ふに富の急激なる蓄積及産業經營の集中は從來の職工組合をして雇主階

級の増進しつゝある勢力に競争する能はざる運命に陥しいれたり。何んとなれば職工組合は其組織の性質上勢ひ一團の労働者が他の労働者の一團と敵對せざるを得ざるに至らしめ、従つて賃銀戦争をなすに當りて相互に衝突するに至らざるを得ず。然らば斯かる不幸なる状態を改善する方は如何にと云ふに他なし、一産業或は出來得べくんば更に進んで全産業に従事する總べての労働者を以て構成する組織に依つて労働者階級の利益を發揚するに若くはなく、斯くして一産業に同盟罷業或は工場閉鎖の起りたる場合には全部の労働者が共同の行動を取り、以て一労働者の蒙れる毀害は總べての労働の毀害となすにあり。」

斯くの如き急進的なる團體は其後燎原の勢を以て猛進し、成立後一年の終りに於ては其會員十萬の多きに達した。然しながら此頃よりして漸く異分子を以てなる會員相互の軌轢が始まり殊に Parliamentarism を主とする社會主義者は如何にかして I. W. W. を自己の目的を貫徹する手段に利用

せんとして、之が爲に主として *L'action directe* を力説するものと衝突絶ゆる事なく、遂に千九百〇八年の大會に於て兩派の軌轢其極點に達し *Palamenta-ismus* を信ずる者は敗れ袂を連ねて脱會し別に團體を組織して異なる主義と主張とを固持してゐる。之が即ち *デトロイト* に於る *I. W. W.* である。不純分子を掃蕩したる *I. W. W.* は更に益其主旨が革命的となり、其實行手段も全く直接行動に依るに決した。そこで從來の趣意書の如きも餘りに穩健なりとして變更を加へ其終尾に於て次の如き文句を挿入した。

「吾人は公正なる一日の仕事に對する公正なる賃銀てふ保守的標語に代ふるに賃銀制度の廢止なる革命的警語を以て旗標とせざるべからず。由來資本主義を破壊するは労働者の歴史的使命なり。故に吾人が労働者の大團體を組織する所以は唯に資本家と不斷の争闘をなすが爲めのみならず、更に資本主義の崩壊されたる曉には吾人自ら生産の大局に當らんとする遠大の目的を有するものなり。要之吾人は産業的組織を以て廢類

せる舊社會の介殼の内に新社會を構成せんとするものなり。(註)

註

今日 *I. W. W.* は東部地方の機關雜誌として *Solidarity* 西部地方の機關として *Industrial Worker* を發行してゐる。

茲に於て愈々革命的の氣分の漲つた *I. W. W.* の首領は其注意を主として未だ組織せられざる不熟練労働者に對して傾注し此等のものを其運動に加入せしめん事に努め、米國到處の不熟練労働者の多數群集する産業の中心地に於て活躍し始めた。即ち西部諸洲の諸都市に於ては盛んに大道演説をして其運動の範圍を擴大せんと謀つた。而して此等の演説運動は頗る猛烈なりしを以て二三の都市に於ける官憲は安寧秩序を攪亂する恐れありとの口實を以て彼等の運動を禁止したが、彼等の反抗的運動の餘りに強烈なるが爲め遂に斯の如き演説運動を許可せざるを得ない有様となつた。更に東部に於ける *I. W. W.* の活動は其の最初に就てに失敗は歸したれども千九百九年の *マッキニス*、*ロックス* 及千九百十二年の *ローレンス* に

於ける兩度の同盟罷工の成功は忽ちI.W.W.の勢力の激烈なるを示して、爾來米國民はI.W.W.を甚しく恐れるに及んだ。(註)

註

此處に一例してマツキーム、ロツクスに於ける同盟罷業の大體を述べんに千九百九年の七月 Pressed Steel Car Company の工場に從事する八千名の労働者が貸銀値上の要求を以て同盟罷業を起したる際、会社側に於ては當局に請願して警官の出張を得て工場の保護を得んとした。之れを聞きたる労働者側は出張したる警官に通告して若し警官が労働者の生命に毀害を加へる時は労働者は其れと同数の警官に毀害を加ふべしと警戒した。其後數週間の中に労働者警官双方に多數の死傷者發生し、警官は遂に工場内奥深く逃げ隠れ、同盟罷業は労働者の勝利に歸した。此事件は著しくI.W.W.の氣勢を擧る一原因となつた。

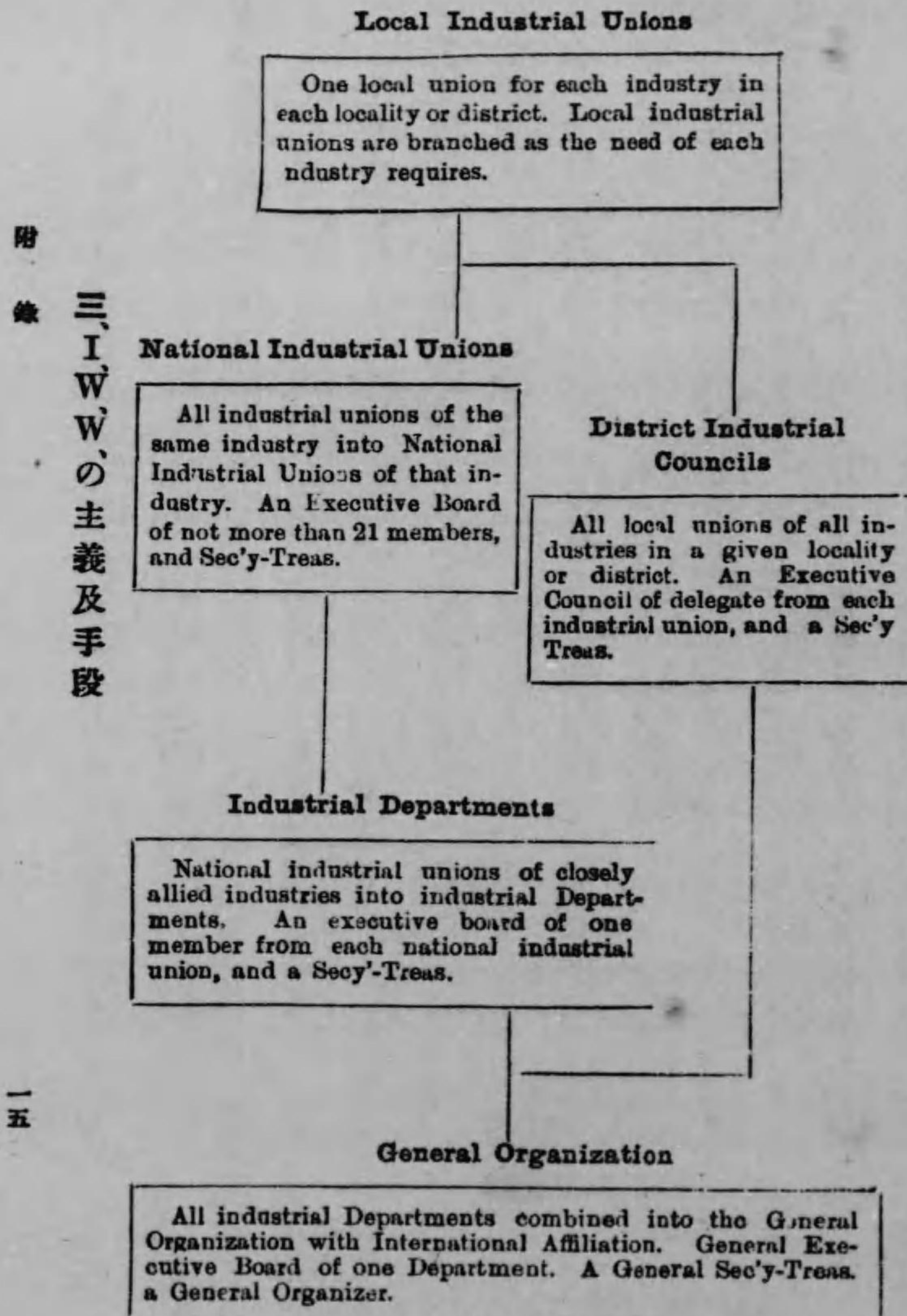
二、I.W.W.の組織

I.W.W.に加入してゐる労働者は殆んど全部不熟練労働者であるから其組織も自然秩序整然たるものでなく甚しく其基礎が不安定である。先此團體の組織の單位となるものは Local Industrial Union 一都市或は一地方に於

ける一産業に從事する總べての労働者を以てするのであつて、此點が從來の職工組合の組織の著しく異なる點である。尙I.W.W.が職工組合と異なる點は入會金及會費の低少なる事、職工組合の入會金は普通二十弗乃至二百五十弗或組合の如きは千弗の高き入會金を課するものもあるであるが不熟練労働者を相手とするI.W.W.の入會金は最高額が五弗で、其の會費の如きも極めて低廉である。之れが一方I.W.W.の財政的基礎を薄弱ならしむる原因であるは勿論である。Local Industrial Union の上に National Industrial Union なるものがある。之れは一産業に關する五つ或は其以上の「ローカル、インダストリアル、ユニオン」で其會員三千名以上に達するものから成立するもので、更に類似産業に從事する二つ以上の「ナショナル、インダストリアル、ユニオン」は Industrial Department を構成する。此の「インダストリアル、デパートメント」は「ナショナル、インダストリアル、ユニオン」を總括するもので、現今は六郡門に分類されてある。而してI.W.W.の執行機關の總秘書兼會

計一名總組織者(General Organizer)一名及理事會からなつてゐる。此等ものは悉くI.W.W.の立法機關である毎年一回開催される總會(Congress)で選舉せられる事となつてゐる。

I.W.W.の組織は大要以上の如きものであるが、最も著しき點は其組織が甚しく中央集權的である事である。之れは地方分權的なる職工組合と異なる處で甚しく浮動的な自治的訓練の不足な不熟練労働者を會員とするI.W.W.の如きものゝ組織として已むを得ない事であらう。此點に就ては更に後節に於て述べんと欲する。此他I.W.W.の組織に就ては種々様々の詳細なる規定が設けられてあるが要するに其主要なるは職業本位の組合組織を排斥して産業本位の組織を設けると云ふにある。今日I.W.W.の總秘書たるセントジョーンはI.W.W.の構成を次の如く圖示してゐる。



(St. John, The I.W.W. Its History, Structure and Methods 採用)

I.W.W.の革命的主張及手段は世人をしてI.W.W.は佛蘭西或は伊太利に於ける「サンデカリズム」の模倣なりと信ぜしむるに至つたのであるが、之れは正鵠を缺いた断定であると思ふ。尤もI.W.W.の首領は屢、佛蘭西に渡りかのConfédération Générale du Travailの領袖と密接なる連絡を取つた事もあるし、又佛蘭西に於ける革命的労働運動の趨勢及哲學等の刺激を受けたるも想像し得らるゝのであるから、I.W.W.と佛蘭西の「サンデカリズム」とは思想上に於て尠からず關係がある事は争はれぬ事實であるが、直接の關係は全く無く其主張する處も又其手段に於ても異なる點を發見するのである。

實にI.W.W.はグロートの指摘するが如く米國に於ける社會的進化の一產物であつて、其革命的手段に訴へて労働者階級の解放を謀らんとするのが主眼で、かのソレルが巧妙に祖述した佛蘭西の「サンデカリズム」の如き哲學を有しないのみならず、I.W.W.労働者は哲學には全く無頓着で、たゞ「I.W.W.が哲學を有するとしても其は未だ確然たる形態を備へたものでなく、

現に新運動の進展するに伴ふて其間に酸酵しつゝあるものであると信ずる。故に吾人はI.W.W.運動をRevolutionary Industrial Unionとなすが最も適切であると思ふ。然りと雖も米國に於けるI.W.W.は佛蘭西の「サンデカリズム」の思想と共鳴する處が頗る多いI.W.W.の指導者は屢、新運動の精神を説明辯護するに當りて佛蘭西の「サンデカリズム」の理論を利用するは事實である。次に吾人はI.W.W.の主張及其手段の大體を述べんと欲する。

先第一にI.W.W.の精神は頗る革命的で既に述べたる趣意書の冒頭に掲げたるが如く、運動の前提としてKlassenkampfを主張してゐる。即ち社會は嚴然と資本家階級と無資産階級とに分たれ、資本家は益榮へ、労働者は日に衰へる。前者は大厦高樓に春宵千金を傾け、後者は其日のパンの爲めに濕暗の陋屋に廢殘の體を横へて困憊の極に達してゐる。然も資本家がかゝる生活をなし得る所以のものは労働者の勞力に依りてなる生産物を掠奪する結果に外ならずして労働者は當然其の總べての生産物を自ら收得する權

利あるものである故に資本家は労働者の不倶戴天の仇敵にして其利害は全く背反するものである。茲に於て労働者は資本家階級に對して不斷の争闘を繼續し、資本家階級を打破しなければならぬと主張するのである。要之階級争闘はI.W.W.運動の基礎的要件であつて此點は佛蘭西の「サンデカリズム」と其見解を一にしてる。

而してI.W.W.は資本家階級を崩壊するには労働者は自ら之れをなさざるべからずとする點も亦ソレルノ主張した處と同一であつて、彼等は其目的を貫徹するには労働者の自發的發展に依らねばならぬとしてる。即ちI.W.W.の首領は一方に於ては從來の社會主義者がParliamentarismを以て労働者階級の解放を企圖した事は全く失敗に歸したる事を指摘し、之れが結果労働者は今日政治的手段を排斥して、直接行動を唯一の武器とせざるべからずと主張し、他方に於ては現存せる職工組合の主旨が著しく迂遠姑息にして到底時代の要求に適應せざる事を力説して、産業本位の組合でなけ

ればならぬと云つてゐる。此最後の點はI.W.W.が佛蘭西の「サンデカリズム」と異なる處にして、佛蘭西の「サンデカリズム」は其目的を貫徹する手段として職業本位の組合よりも寧ろ産業本位の組合を便宜とするが、さうして職業本位の組合をI.W.W.の如く排斥しない。現に佛蘭西の「サンデカリズム」の中心となつてゐるConfédération Générale du Travailの内には種々なる體様を備へた組合が加入してゐる。勿論其中樞勢力をなす「サンデカリスト」は他のものをして其の革命的主張に同化させんと努力して居るが、I.W.W.の如く他の異分子を排斥して別に一團體を組織する事はしない。寧ろ佛蘭西の「サンデカリスト」はなるべく現存せる職工組合の中に加出して内部より漸次其主張の擴張を謀るに努めてゐる。

次にI.W.W.は労働者階級の解放を貫徹するが爲めにはあらゆる革命的手段を講じ、之れが妨害をなすものは如何なるものをも敵視する。且佛蘭西の「サンデカリズム」と同様I.W.W.は從來の國家は資本家階級の「利器に

過ぎずして國家の存在は労働者に取りては何等の價值なきもので、國家も、政府も又其の法律も之れ要するに社會の安寧秩序保全の美名の下に資本家階級の利益を保護するものに過ぎない。故に労働者は斯くの如き資本家階級の便宜的利器の爲めに拘束せらるゝ義務は存在しない。労働者に取りては現今の社會に於ては正義も、自由も、權利も空虚なる名辭である。故に労働者はありとあらゆる革命的方法を以つて現今の社會組織の顛覆を謀らねばならない。正義とか不正とか云ふ問題は労働者の頓着する點でないと言張してゐる。今日 I. W. W. の巨魁と稱せらるゝヘイウズドは豪語して「法律なるものは余の眼中にない。凡そ眞實の社會主義者は法律を信奉する事能はざる者にして労働者が眞に覺醒するに於ては其争闘上あらゆる手段を講ずるが故に法律に低觸するが如きは聊かも意とせざるものである」と。既に述べたる西部諸洲に於ける大道演説禁止に對する反抗手段や「マツキ、ロツクス」に於ける同盟罷業の方法は最も赤裸々に I. W. W. の

主義を顯はしてゐる。此點は I. W. W. は無政府主義と大差ない。

I. W. W. は其實行手段として「Action Directe」に訴へて資本主義の崩壊を謀らんとするものなれども、之がため必しも暴行的、腕力的行動を取ると云ふのではないが、之れを必要とする場合には其の如何なる事も辭さない。而して此の直接行動には種々あれども、彼等常に労働者に鼓吹するものは總同盟罷業及「サボターヂ」である。蓋し I. W. W. は資本家階級を崩壊するには總同盟罷業を以て最も有效なる武器となしをれども、之は直ちに實行する能はざるが爲め何時にても資本家に最も打撃の強大なる時には絶へず同盟罷業を起し、階級争闘を繼續し、以て資本家に出来る丈多々の打撃を與へ最後に一舉して「Grève general」を以て資本家階級を倒さんと計畫する。故に I. W. W. は到る處の労働争議に参加して同盟罷業を援助する。されど既に述べたるが如く I. W. W. の財政的基礎極めて薄弱なるを以てなるだけ長期の同盟罷業を回避し短期の同盟罷業を何回となくやる方針を取りつゝあ

る。セイント、デョーンは其小著「I. W. W.」中に「長期の同盟罷業の成功せるは過去の事に属する。普通の場合に於ては四週間乃至六週間内に罷業の勝算なきに於ては之れを繼續するは不利である。今日の如き集中的産業に於ては資本家側に於ては六週間内に六回の同盟罷業よりも六週間繼續する一回の同盟罷業に堪ふる力大であると云つてゐる。故にI. W. W. 労働者はなるべく好機會に遭遇する毎に同盟罷業を起こす事を主張し其れが敗るも少しも意としない。否彼等は今日の失敗は明日の成功の一階梯であつて時機の熟する晩にはGrove Generalの決定的成功を得べしと確認してゐる。茲に於て労働者全體の解放を欲求するI. W. W. 労働者に取りては總同盟罷業は其のSocial mythとなるのである。

更にI. W. W. は同盟罷業が勝算の見込なき時は之れに代ふるにSavoyageを實行する。「サボタージュ」の意義及種類に關しては吾人此處に論じない。最も米國に於て「サボタージュ」を實行せるはI. W. W. 労働者が初めたのでなく、其

の前身たる「ナイツ、オブ、レィバー」も亦盛に之れを利用したれども唯其當時は其れが「サボタージュ」である事が理解せられて居らなかつただけである。而してI. W. W. は時に應じ機に臨みて「サボタージュ」を實行し居れども、之れは表面に顯はれない同盟罷業の如きもので頗る破壊的なれどもI. W. W. 労働者は斯くせば罷業破り(米國では之れをBoob英國ではBlackleg獨逸又はStreik Brecherと稱してゐる)に妨害される憂がなく且之れが實行中も尙賃銀を得る事が出来るので頗る有效なる武器であると力説してゐる。

最後にI. W. W. は其組織の點に於て佛蘭西のC. G. T. と稍其趣を異にしてゐる。既に記せるが如くI. W. W. の組織は甚しく中央集權的にして其執行機關たる理事會の勢力は頗る強大なるもので例へば此會は随意にどの組合に對しても同盟罷業を起す事を命ずる事も出来るし、又地方の支部に對して同盟罷業を敢行するに必要する費用を課する事も出来る。要するに支部の總べての利害は其地方的の事務に對しては獨立的の行動を取る事を

得れども其他は全部本部の其れに従屬してある。然るにO, G, T, は地方分権的の組織で其れに加入する職工組合及Industrial Unionは完全なる自治團體である。思ふにI, W, W, がかくも中央集権的である事は其會員が大部分不熟練労働者で自治的能力が缺乏してゐる事に起因する。而して佛蘭西の「サンデカリズム」を全く模倣してゐるThe Syndicalist League of North Americaは盛んにI, W, W, の中央集権的組織を攻撃してゐる。即ち彼等はI, W, W, の中央集権的組織は労働者階級の官僚主義を育成するもので、従つて産業的専政主義となる不可があると力説してゐる。

斯くの如くI, W, W, は現存せる資本主義を打破せんが爲めには其手段の如何を不問總べての革命的破壊的方法を講じて以て他日労働者階級の解放を得べしと期してゐる。

四、I, W, W, の將來

惟ふに米國に於けるI, W, W, 運動は同國社會生活の一生産物である。蓋

し年々舊大陸より米國の國內に流入する移民の大部分は無智無學で且つ自治的訓練の素養がない。而して此等のものは不熟練労働者となつて異郷の土に於て轉徙流浪の生活を始めるのである。彼等は自由の國に於て選舉權を有しない。又主として熟練労働者から成立する職工組合は門戸を閉ぢて彼等を歓迎しない。否屢彼等に對して壓迫と苦痛を與へる。茲に於て此等の社會的廢殘の單命を自覺せる「プロレタリア」は遂に躍起して其運命を開拓せんと努むるに至つた運動が即ち之のI, W, W, である。故にI, W, W, は哲學もなく組織立つたる形式もない。彼等が頼むは一にも二にも力であつて、彼等は考ふる代りに強烈なる現實感と意志の力とに刺激されて衝動的に行動し、更に彼等の低級なる智的理解力及下位なる社會的境遇は自然彼等を驅つて其の運動を過激ならしめたものではあるまいか。實にI, W, W, 運動は米國に於て急激なる發達を遂げたる器械的、自動的時代の單調的生活に反抗する本能の衝動的作用に外ならないと信ずる。然ら

ば此運動の將來は如何になるであらうかと云ふに之れは頗る困難なる問題である。現今に於てはI.W.W.は其會員はかの二百萬の會員を有する。derivation of Laborに比すれば甚だしく尠く僅かに七萬人にして且つ其財政的基礎も亦薄弱である。されど會員の數及財政的基礎の如何に依つてはI.W.W.の實力を測り知る事が出来ない。I.W.W.の強味のある點は其猛烈なる革命的精神であつて過去十數年間殊に最近數年間に於ける此團體の勢力の反強は決して尠くないもので、米國の社會生活の種々なる方面に甚大なる影響を及ぼしてゐる。即 Federation of Laborは此團體を目して無頼漢の集團なりとして盛んに之れを攻撃してゐる。然れどもI.W.W.運動の漸く盛んなるに従ひ Federation of Laborは著しく其組織及方法の缺陷ある事を自覺し一方に於ては其或ら組合をして産業本位の組合の成立を許可すると同時に、他方に於ては其組合中に不熟練労働者も加入せしめんと努力し、頗る不熟練労働者に加入を慫慂し居る有様である。更は資本家階級は新國

體の猛烈なる進展に甚しく恐怖し、今日に於ては比較的穩健なる Federation of Laborと協力して此新團體の勢力を防止せんとしつつある。尙社會の輿論はI.W.W.を暴徒の群團と認めて政府に對して之れが取締りを迫り、ルズベルトの如きはI.W.W.の首領を望ましからぬ市民と輕蔑してゐる有様である。殊に最近米國が歐洲戰爭に参加し、國民舉つて愛國的氣分の高潮し來つた際尙もI.W.W.は其革命的破壊的運動を改めざるを以て、米國民は其の非愛國的行動を攻撃して止まず、I.W.W.の首領を目して獨逸系米人の陰謀團であると疑つた。爲めに米國政府はI.W.W.の首領を拘引して綿密なる査問をなしたれども何等の痕跡なく又之れを放免した。更に其後首領の殆んど全部は長期の抱留に處せられた。(註)

註

米國民はI.W.W.なる頭字を頗る輕蔑し、之は Industrial Workers of World であらずして "I won't work" 又は "Irresponsible Wholesale Workers" 或は "I want whisky Brigade" を代表するものであると皮肉つてゐる。

蓋し米國に於ける此の革命的労働者が今後に於ても従前の如く極端なる破壊的手段方法を以て猛進するかは頗る疑問である。最も同盟罷業の如きものは労働者の有力なる武器には違いないが甚しく高價なるものであるから、之れを無暗に濫用する時は團體其ものの基礎を破壊するものである事は過去の労働者運動の實驗が明白に教示する處であるが故にI.W.W.の首領も此點は思考せざるを得ない。現に佛蘭西の「サンデカリズム」を遵奉する労働者も今日に於ては昔日の如き極端なる主義及手段を主張せず主として労働者の賃銀の増加及労働者の社會的地位の改善に其注意を傾注して有様である。其に總同盟罷業の如きものは到底實行し得べからざるものなる事は佛蘭西の實驗に於て明白である。殊に「サボタージュ」の如き手段に至りては其方法頗る惡辣、其精神甚しく姑息なるが故に之れを取行するに於ては遂に労働者の士氣を沮喪し、労働運動其ものの精神を没却するものである。故に今日に於てはウエールズ、カウツキ、及其他多くの

社會主義者は「サボタージュ」を極力排斥して、之れは時代後れのものであると力説してゐる。のみならずソレルの如きも甚しく此種の手段に反對を稱へ、こは労働者階級の眞正なる精神を破壊するもので、斯くの如きものに依りて労働者の解放は期すべからずと主張してゐる。

然しながらI.W.W.は兎に角其の革命的な「プロパガンダ、デモ、タクト」に依つて米國に於ける多數の不熟練労働者の階級的自覺を促進したる事は事實で、特に其指導者の熱誠、忠實、不撓の努力に於てはよしや此等のものが誤用せられたるにもせよ吾人の嘆賞措く能はざる處である。恐くはI.W.W.は今後も新運動の中心的勢力として益進展するが如く思はれる。殊に其政治的組織の民主的なる、資本主義的生産の大規模なる米國の如き國に於ては斯くの如き革命的運動が顯はれたる事は恰かも乾燥せる松葉に火を點じたるが如きもので或は急激なる速力を以て進展するかもしれない。實に米國に於ける此の革命的労働者運動が將來如何なる活躍をなすかは

頗る興味深い問題である。

労働者問題終

労働者問題は、社会の根本を揺るがす重要な問題である。労働者は、社会の生産活動を支える重要な存在であり、その権利と利益の保護は、社会の安定と発展の基盤となる。本書は、労働者の権利と利益の保護を目的として、労働法の基礎知識を解説し、労働者の権利を擁護するための実践的な方法を提示している。本書は、労働者自身だけでなく、労働関係者や社会一般の人々にも有益な内容である。

大正七年十二月八日 印刷
 大正七年十二月十二日 發行
 大正八年一月七日 再版發行

労働者問題上巻

定價金一圓六十錢

北澤新次郎

會社同文館
東京市神田區表神保町二番地

森山章之丞

綾部喜久二
東京市神田區雉子町三十四番地

宮本印刷所
東京市神田區雉子町三十四番地

不許複製

印刷者
印刷所

右代表者

發行者
著作者

發兌

大賣捌

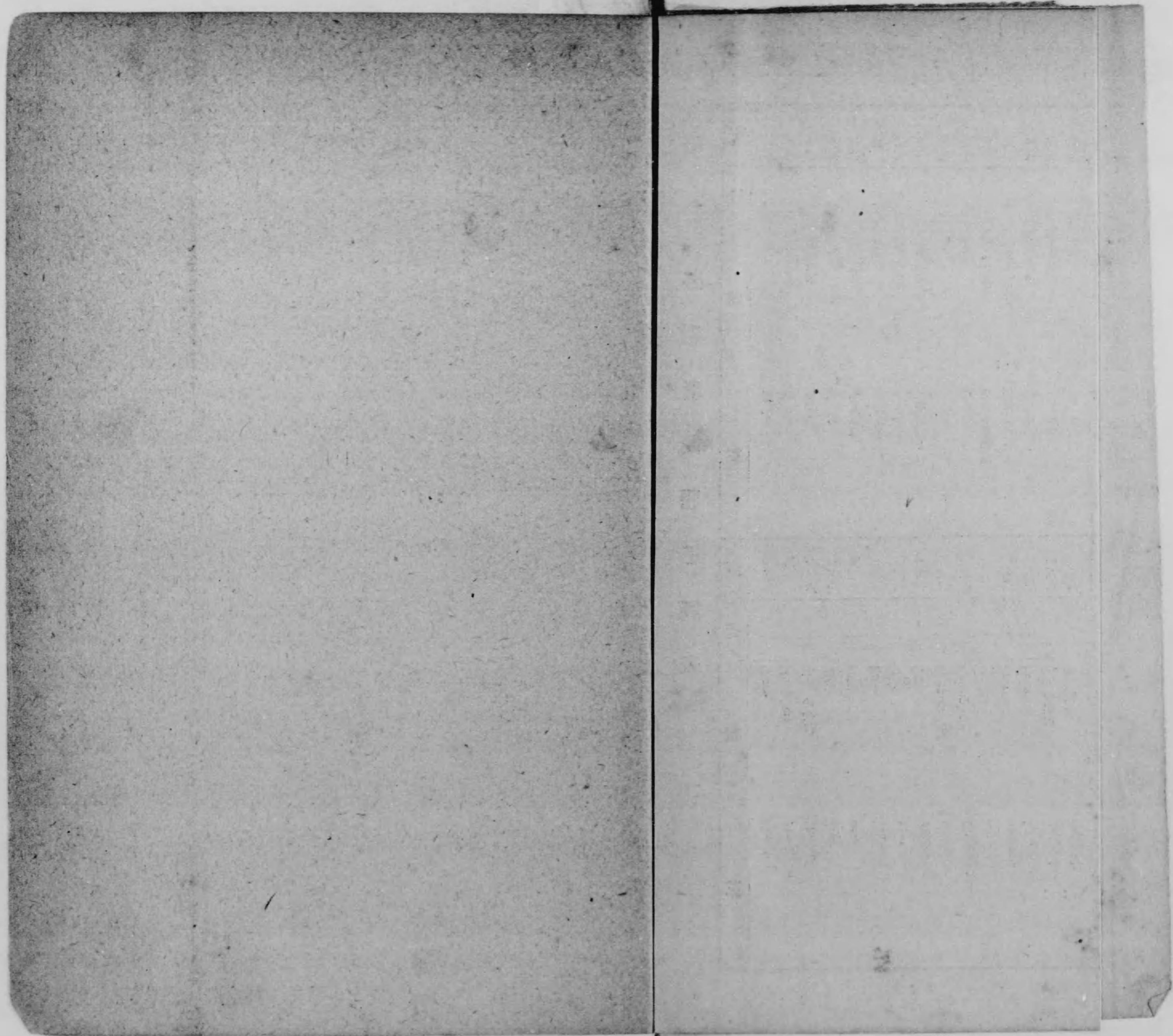
東京市神田區表神保町二番地
電話本局四三七七
報替口座東京一六三五

株式會社同文館

東京牛込 早稻田同文館
 東京神田 東京堂
 大阪市東區 談實文館
 大阪市北區 盛文館
 久留米・福岡 菊竹書店

労働者問題正誤表

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
三〇七	一〇	存じ	削除	一五三	七	Conc- Munitions	Concl- Munitions
一三	九	學術を講	學術講	同	一〇	(13)の次は	Herker
一四	六	理想的	理想的	一三六	一〇	育成	育成
一七	九	職工結合	職工組合	一四一	六	郁成	育成
同	一〇	要素として	要素として	同	一	循環	循環
二九	四	交換価値は	交換価値とは	一四三	三	循環	循環
三三	六	交換価値は	交換価値とは	一四四	八	に	に
三五	二	By	By	一五一	五	労働	労働
三七	二	受く賃銀度	受くる賃銀度	一五二	一〇	Rowntree	Rowntree
同	八	歸属すべき	歸属すべきも	一五三	三	Unemploya	Unemployed
同	一一	理論者中	理論中	一五三	一一	(6)	(7)
三八	一一	三主義	三主義が	一五三	一六	Rowntree	Rowntree
四四	一一	しや	しや	一五八	四	労働紹介所	労働紹介所
四九	一一	Anarchismus	Anarchism	一五八	八	労働紹介	労働紹介
五〇	二	スミスは	スミスが	一六三	五	公共的労働的労働紹介所	公共的労働紹介所
同	八	してゐる	してゐる事は	一六五	五	別度	制度
同	一一	宣言	宣言	一八三	終行	Elevon	Elevon
五一	一一	宣言	宣言	一八六	九	州定であつて	削除
五一	一一	宣言	宣言	一八九	九	宿泊業	宿泊等
五八	一一	Arbeiterfrage	Arbeiterfrage	一九一	五	代表者より委員	代表者よりなる委員
六〇	一一	National Convention	National Convention	一九六	一三	同盟罷業	同盟罷業
同	二	同國	同國	一九七	九	ストツガルト	ストツガルト
同	九	for	for	一九七	二	公平無利	公平無私
同	一一	Trade	Trade	一九八	一四	der	der
六一	五	National	National	一九八	一七	General	General
同	九	International	Internationales	一九九	五	Rowntree	Rowntree
六五	六	労働者共	労働者と共	附録	三	ウイリヤム	ウイリヤム
七〇	四	附隨的職掌	附隨的職掌	同	一〇	第三	第二
七一	一三	Syndicalism	Syndicalism	同	一	ものである	ものである
七二	一三	同盟罷業の原	同盟罷業の原因	同	一	不熱練	不熱練
七六	二	好況につれて	好況につれて	同	一	範圍	範圍
八〇	八	拘束	拘束	同	一	軌轢	軌轢
八二	九	注意周到	注意周到	同	二	軌轢	軌轢
九四	一一	Mitchell	Mitchell	同	二	Parlamentar-	Parlamentar-
同	一六	Bjertano	Bjertano	同	三	Solidarity	Solidarity
九五	二〇	...masses	...masses	同	三	失敗は	失敗に
九六	七	削除	削除	同	二	Compony	Compony
九七	表	Principle	Principle	同	五	原因	原因
九七	中	Labor	Labor	同	七	六部門	六部門
九九	九	Kapital und	Kapital und	同	一三	佛蘭西	佛蘭西
九九	六	Lieferungs	Lieferungs	同	一	directo	directe
九九	一八	煙草	煙草	同	二	directo	directe
一〇〇	四	Industrial	Industrial	同	一〇	Greve	Greve
一〇〇	一一	仲裁裁判所	仲裁裁判所	同	二	集權的	集權的
一一〇	一一	仲裁裁判所	仲裁裁判所	同	七	問はず	問はず
一一一	二	當事者間	當事者間	同	一〇	決して	決して
一二四	二	裁々所	裁々判所	同	七	更には	更に
同	三	同國	同國	同	一三	拘留	拘留
一二八	九	渉取ら	渉り	同	一〇	Workers of the wvrl	Workers of the World
同	一三	五日間	五日間に資	同	二	Workers of the wvrl	Workers of the World
一三一	一〇	且の	且	同	二七	Workers of the wvrl	Workers of the World
三三	二	又	削除	同	二九	Workers of the wvrl	Workers of the World



8. 6. 4



382
17

終